

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム自己点検評価書

本学では、令和5年度より「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」を全学的に実施している。今般、当該年度の本プログラムの自己点検ならびに評価を実施したため、その結果を報告する。なお、評価項目は文部科学省の「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」実施要綱細目の内容に準じている。

【評価体制】

共通教育委員会では、園田学園大学における数理、データサイエンス及びAI 教育分野の教育課程の実施を通して、当該分野における基礎的能力を具備する人材育成のための教育に係る全学的な方針を企画立案及び推進するとともに、数理・データサイエンス・AI 教育に係る全学的なプログラムの PDCA サイクルを確立し、もって本学の教育研究の発展及び学修の充実に資することを目的としている。

上記を踏まえ、本プログラムは毎年度、共通教育委員会により自己点検・評価を実施する。

【自己点検・評価内容】

1. 点検・評価の対象科目

共通教育科目 「AI とデータサイエンス」「基礎情報処理 (1)」「基礎情報処理 (2)」

2. 教育プログラムの履修・習得状況、学修成果に関する事項

*本プログラム開設科目の履修者・修了者の状況は以下の通りである。

No.	科目名	入学定員	収容定員	R5		R6		履修者数合計		履修率	
				履修	修了	履修	修了	R 5	R 6	R 5	R 6
1	基礎情報処理 (1)	395	1,580	314	314	266	266	314	266	19%	16%
2	基礎情報処理 (2)	395	1,580	318	318	268	268	318	268	16%	16%
3	AI とデータサイエンス	395	1,580	34	34	31	31	34	31	2%	1%

3. 履修率 (履修者数/収容定員数) こちらも他校の状況を参考にして下さい。

基礎情報処理 (1)、基礎情報処理 (2) は、必修科目であり、配当年次では1年から4年で履修を行うが、殆どが1年生で履修登録を行っている。履修率は全学科で、令和5年度は19%、令和6年度は16%であるが、入学年では約80%の学生が履修を行っている。

AI とデータサイエンスは、選択科目である為、令和5年度は2%、令和6年度は1%となっており、経営学部の履修者が占めている。

4. 授業評価アンケート

FD 委員会では、授業評価アンケートを実施し、その結果をもとに学生の学習動機や学修成果を把握し、FD 活動に活用することとしている。令和 6 年度の関係科目に関するアンケート結果は以下の通りである。

質問は、以下の 2 つである。

授業内容について

- ・授業の内容を十分理解できましたか？
- ・この授業によって知的に刺激され、さらに深く勉強したいという気持ちになりましたか？

回答は、「A. 強くそう思う（非常に強い）」「B. ややそう思う（良い）」「C. どちらともいえない」「D. あまりそう思わない（あまり良くない）」「E. 全くそう思わない」の 5 段階である。

○AI とデータサイエンス【大学】

	A	B	C	D	E
授業の内容を十分理解できましたか？	30.8	57.7	11.5	0	0
この授業によって知的に刺激され、さらに深く勉強したいという気持ちになりましたか？	42.3	53.8	3.8	0	0

○基礎情報処理（1）【大学】

	A	B	C	D	E
授業の内容を十分理解できましたか？	35.83	50.56	9.46	4.13	0
この授業によって知的に刺激され、さらに深く勉強したいという気持ちになりましたか？	38.1	46.18	12.33	2.07	0.9

○基礎情報処理（2）【大学】

	A	B	C	D	E
授業の内容を十分理解できましたか？	37.3	51.33	10.44	0.92	0
この授業によって知的に刺激され、さらに深く勉強したいという気持ちになりましたか？	35.8	47.08	14.66	1.61	0.83

本集計結果より、授業評価アンケートが実施された科目は「A. 強くそう思う（非常に強い）」「B. ややそう思う（良い）」の比率が科目間において多少の差異はあるものの、全体的に評価が高く、数理・データサイエンス・AI 教育にとって適切な授業が実施されていると言える。

5. 評価結果

教育プログラムの履修・習得状況、学修成果に関しては、令和6年度時点で「AIとデータサイエンス」の履修者および修了者数が「基礎情報処理(1)」および「基礎情報処理(2)」と比べて少ない。これは、「AIとデータサイエンス」は選択科目であり、「基礎情報処理(1)」および「基礎情報処理(2)」は必修科目となっているためである。数理・データサイエンス・AI教育プログラム修了者を増やすためにも「AIとデータサイエンス」の適切な時間割配置や必修化を含めて検討中である。また、授業評価アンケートの結果からは、開設全科目の評価は概ね好評であり、園田学園大学での数理・データサイエンス・AI教育は「学生目線」からも順調に実施されていると判断できる。